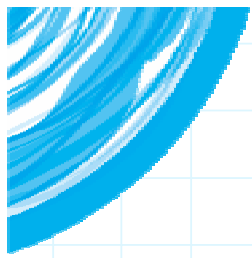


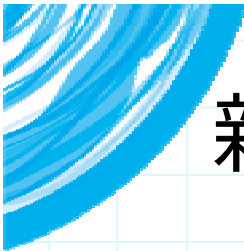
2008年3月期 決算説明会

2008年4月30日





**代表取締役社長
君 和田 正 夫**



新中期経営計画 (2007年4月～2012年3月)

- ① 2011年度にプライムタイムで視聴率トップを獲る
- ② 2011年度に連結売上高3,000億円、
営業利益200億円を達成する
- ③ 創造力を最大限に発揮できる企業風土を作る

2008年3月期の業績

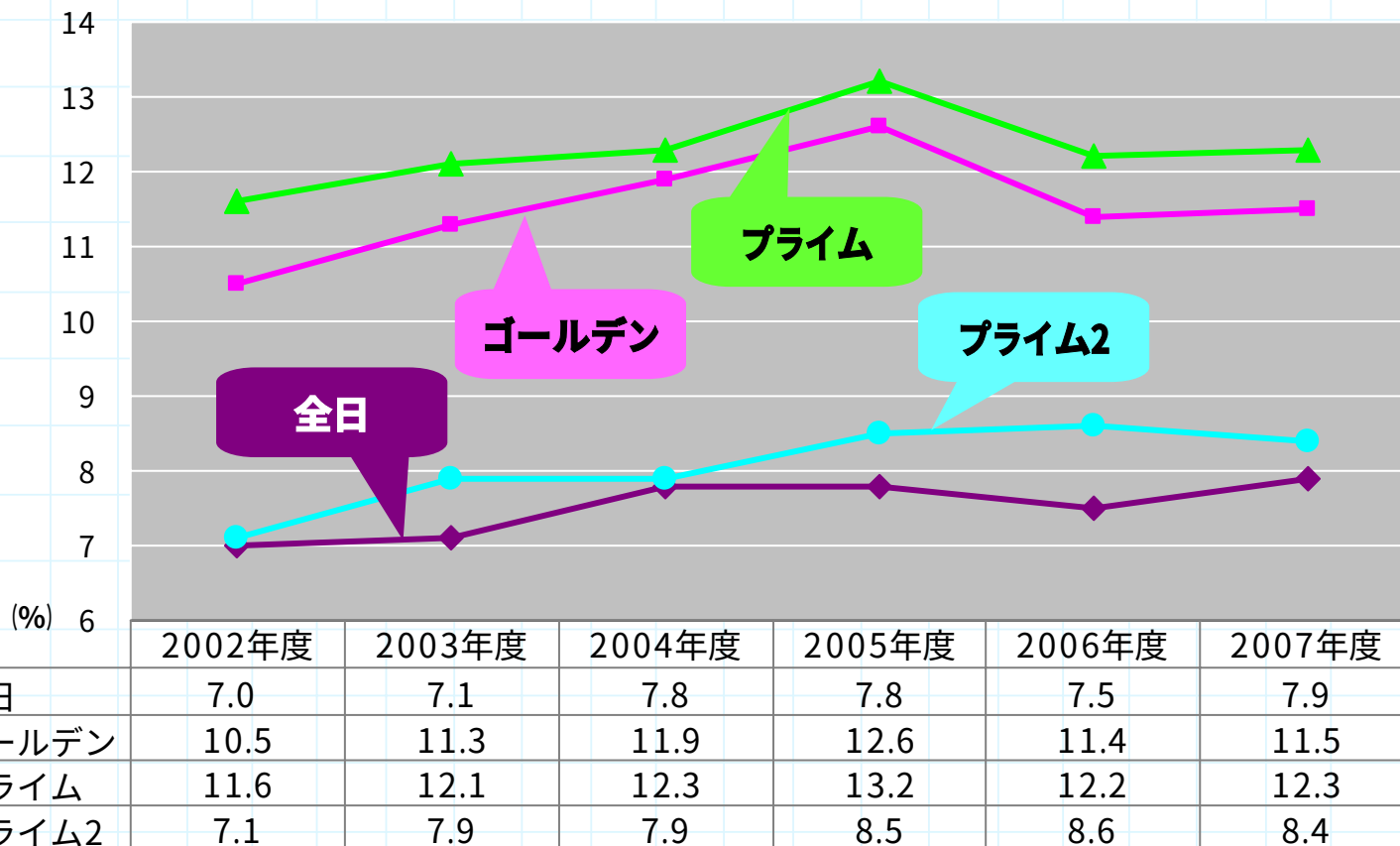
(単位:百万円)

連結	実 績	コ メ ン ト
売上高	252,746	◆ 音楽出版事業はほぼ横ばい。 ◆ その他事業は好調に推移。
営業利益	9,976	
経常利益	12,080	
当期純利益	6,422	

(単位:百万円)

個別	実 績	コ メ ン ト
売上高	230,144	◆ スポット収入は厳しい市況の下、減収。 ◆ タイム収入はほぼ横ばい。 ◆ 広告外収入は好調に推移。 ◆ コストコントロールに努めたものの、番組制作費等の増加により、増収減益。
営業利益	6,105	
経常利益	7,470	
当期純利益	3,847	

視聴率の推移



(出典:ビデオリサーチ)

2007年度視聴率トピックス

	テレビ朝日			日本テレビ			TBS			フジテレビ			テレビ東京		
全日	③	7.9	+0.4	②	8.3	±0.0	④	7.6	-0.2	①	8.7	-0.5	⑤	3.8	±0.0
GH	④	11.5	+0.1	②	12.1	+0.2	③	11.7	-1.0	①	13.8	-0.3	⑤	8.3	-0.1
PT	②	12.3	+0.1	③	12.2	±0.0	④	11.6	-1.0	①	13.6	-0.7	⑤	7.9	±0.0
PT 2	①	8.4	-0.2	③	6.9	+0.3	④	6.0	-0.5	②	8.0	-0.5	⑤	3.8	-0.1

※ ○の数字は民放順位 (出典:ビデオリサーチ)

- ◆ プライムは単独2位。2位は2年ぶり・開局以来2回目。
- ◆ 全日は3位。3位以上は3年ぶり・開局以来6回目。7.9%は開局以来最高。
- ◆ プライム2は1位。3年連続・3回目。

開局50周年記念企画

◆ 開局50周年記念期間が好調にスタート

- ドラマスペシャル 松本清張「点と線」 23.8%、23.7% 文化庁芸術祭大賞(テレビ部門)受賞
- 野球「北京五輪アジア地区最終予選」 13.1%、23.7%、27.4%
- 日曜洋画劇場「武士の一分」 18.3%

◆ 今後の50周年記念企画

- ドラマ 「氷の華」
- バラエティ 「地球テスト テスト・ザ・ネーション」
- 土曜ワイド 「西村京太郎 トラベルミステリー50回記念SP」
「家政婦は見た! 26」
- 日曜洋画劇場 「ナルニア国物語 第一章:ライオンと魔女」
「スーパーマン・リターンズ」
- 出資映画 「相棒 -劇場版-」
「レッドクリフ」
- イベント ブロードウェイミュージカル「スウィング!」
「ピカソ美術館展」
「tv asobi special 2008」

地球温暖化防止プロジェクト

◆ 番組展開

- 「地球危機2008 何気なく暮らしている人たちへ」 4時間SP、ディレクターズカット版
- 「明日使えるエコ知識！ 超もったいない生活で地球と家計を守れSP」
- 「修造学園Ⅴ 環境問題編」
- 「地球テスト テスト・ザ・ネーション」
- 「地球危機2008 part.2」

◆ その他

- 「触れる地球」の展示
- 「ドラえもん」とのコラボ → 「映画ドラえもん のび太と緑の巨人伝」
- 「ちい散歩」との連動企画 → 「えこ散歩」

◆ 会社としての取り組み

- 民放連・数値目標／環境自主行動計画
- 調達から廃棄まで リサイクル率の向上
- 社内セミナーの開催

2008年度業績見通し

(単位: 百万円)

連結

	第2四半期累計期間	前年同四半期比 (%)	通 期	前期比 (%)
売上高	130,000	4.3	263,000	4.1
営業利益	3,100	△ 24.4	7,500	△ 24.8
経常利益	4,100	△ 22.2	9,400	△ 22.2
純利益	2,300	△ 12.9	5,300	△ 17.5

(単位: 百万円)

個別

	第2四半期累計期間	前年同四半期比 (%)	通 期	前期比 (%)
売上高	116,000	1.9	236,000	2.5
営業利益	1,000	△ 53.9	4,100	△ 32.9
経常利益	1,700	△ 43.9	5,200	△ 30.4
純利益	1,000	△ 29.3	3,000	△ 22.0

	上期	下期	通期
タイム	+ 3.9%	+ 3.5%	+ 3.7%
スポット	+ 0.7%	+ 2.8%	+ 1.7%

	通期
番組制作費	933億円

1株当たり配当金について

	1株当たりの 中間期末配当金	1株当たりの 期末配当金	1株当たりの 年間配当金
2006年度	普通配当 700円	普通配当 1,300円	普通配当 2,000円
2007年度	普通配当 1,000円	普通配当 1,000円 記念配当 1,000円 合 計 2,000円	普通配当 2,000円 記念配当 1,000円 合 計 3,000円
2008年度 (予定)	普通配当 1,000円	普通配当 1,000円 記念配当 1,000円 合 計 2,000円	普通配当 2,000円 記念配当 1,000円 合 計 3,000円

常務取締役
高 田 弘 明

要約連結損益計算書 ハイライト

(単位:百万円)

	2007年3月期	2008年3月期	前期比	増減率
売上高	251,124	252,746	1,621	0.6%
営業費用	237,446	242,769	5,323	2.2%
営業利益	13,677	9,976	△ 3,701	△ 27.1%
経常利益	14,587	12,080	△ 2,506	△ 17.2%
当期純利益	10,303	6,422	△ 3,881	△ 37.7%

- ◆ 売上高は前期比で増収を達成。
- ◆ スポット市況の低迷で広告収入が減収となるも、イベント事業やビデオ・DVD化事業等のその他事業が好調に推移し、増収に貢献。
- ◆ 営業費用は、コンテンツ力強化のための番組制作費やその他事業費などにより増加。

セグメント情報

(単位:百万円)

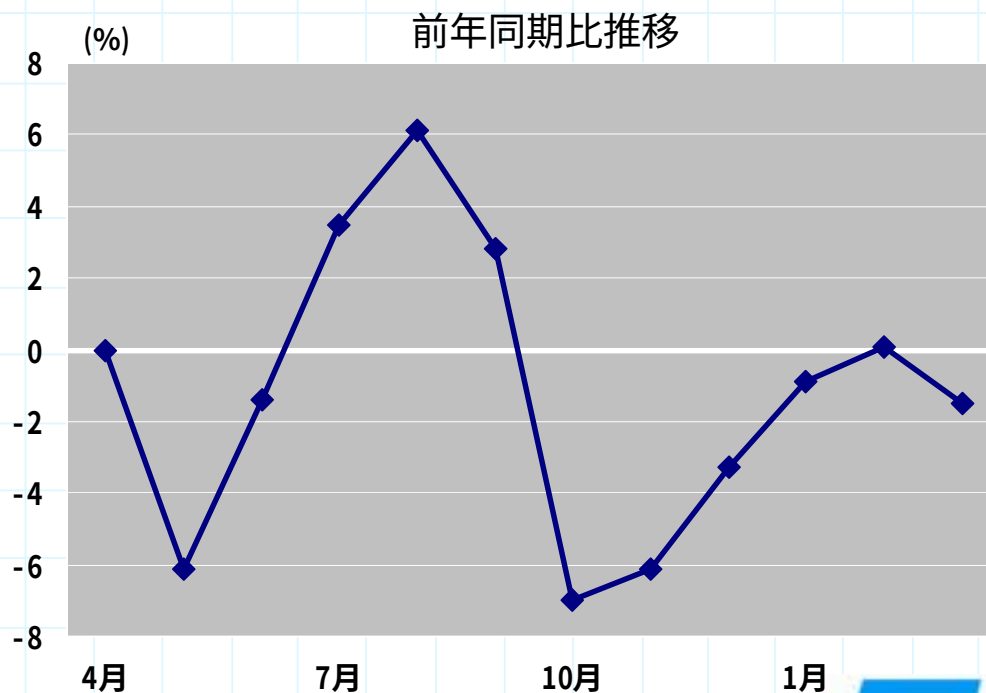
	売上高				営業利益			
	2007年 3月期	2008年 3月期	前期比	増減率	2007年 3月期	2008年 3月期	前期比	増減率
テレビ放送 事業	221,438	220,481	△ 956	△ 0.4%	10,417	5,704	△ 4,713	△ 45.2%
音楽出版 事業	9,348	9,697	348	3.7%	1,889	1,763	△ 126	△ 6.7%
その他 事業	29,156	32,123	2,966	10.2%	1,472	1,705	233	15.9%
消去又は 全社	△ 8,818	△ 9,555	△ 737	8.4%	△ 101	802	904	—
合計	251,124	252,746	1,621	0.6%	13,677	9,976	△ 3,701	△ 27.1%

スポット収入の動向 (個別)

	上期 前年同期比	下期 前年同期比	通期 前期比	金額 (百万円)	前期比 (百万円)
スポット収入	+ 0.3%	△ 3.2%	△ 1.5%	97,926	△ 1,486

- ◆ 東京地区のスポット市況は、通期で△3.0%
- ◆ そのような環境の中、5期連続で地区シェアアップを達成。

2002年度	18.4%
2003年度	18.8%
2004年度	20.1%
2005年度	20.8%
2006年度	20.9%
2007年度	21.3%



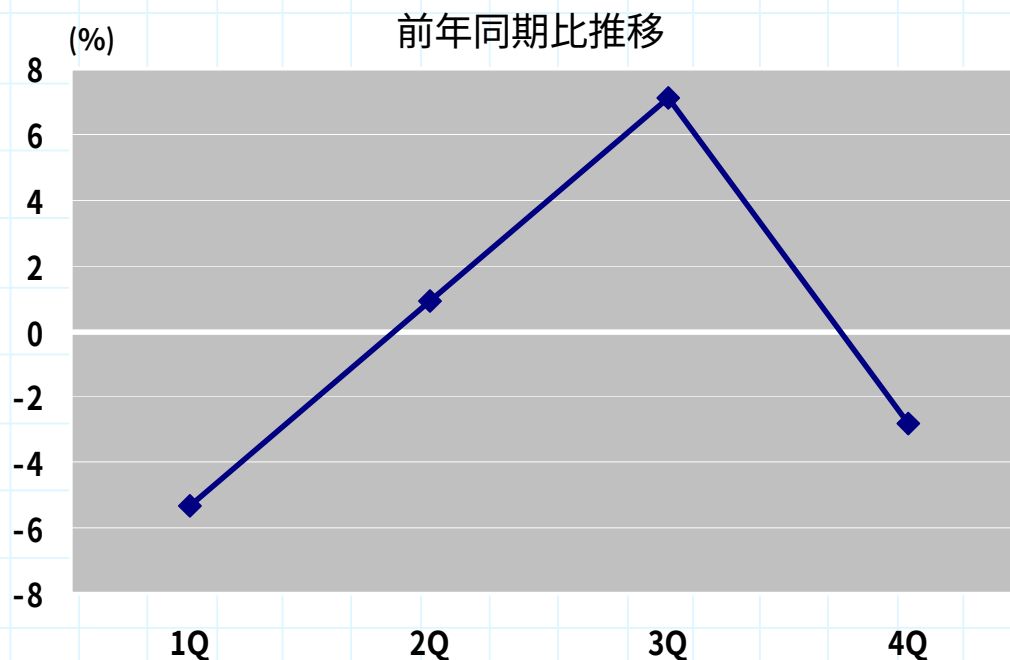
スポット業種別動向

	2008年3月期		2007年3月期	
	前期比	シェア	前期比	シェア
基礎材	66.9%	0.9%	91.7%	1.3%
食品	99.3%	22.5%	99.0%	22.3%
薬品	115.3%	8.3%	98.2%	7.1%
化粧品、洗剤	106.2%	5.9%	100.3%	5.5%
衣料、身の回り	94.5%	1.4%	102.2%	1.4%
出版	79.7%	4.5%	137.4%	5.1%
一般産業機器	106.1%	0.4%	64.0%	0.2%
精密・事務機器	117.9%	3.4%	106.1%	5.4%
電気機器	93.5%	9.1%	98.6%	6.8%
輸送機器	85.8%	7.3%	96.4%	8.4%
家庭用品	107.4%	4.1%	101.3%	4.0%
住宅・建材	118.6%	3.7%	102.0%	3.0%
卸売	112.4%	3.0%	87.3%	2.6%
金融・保険	89.4%	6.0%	60.4%	6.6%
サービス・娯楽	97.8%	16.8%	113.8%	16.6%
その他	101.7%	2.7%	113.9%	3.5%
総額	98.5%	100.0%	98.6%	100.0%

タイム収入の動向（個別）

	上期 前年同期比	下期 前年同期比	通期 前期比	金額 (百万円)	前期比 (百万円)
タイム収入	△ 2.2%	+ 2.2%	+ 0.0%	95,754	+ 9

- ◆ レギュラー番組は、視聴率の上昇によりカロリーアップに成功、前期を上回った。
- ◆ 単発番組は、前期のサッカー「FIFAワールドカップドイツ大会」や「世界水泳」の反動で減収となったものの、「点と線」「野球北京五輪最終予選」等の開局50周年記念企画やサッカー「AFCアジアカップ」などで高カロリーのセールスを行うことができた。



音楽出版事業

◆ 専属アーティストのアルバム・シングルがいずれもヒット作品に



アルバム
「ケツノポリス5」



シングル
「黄金魂」



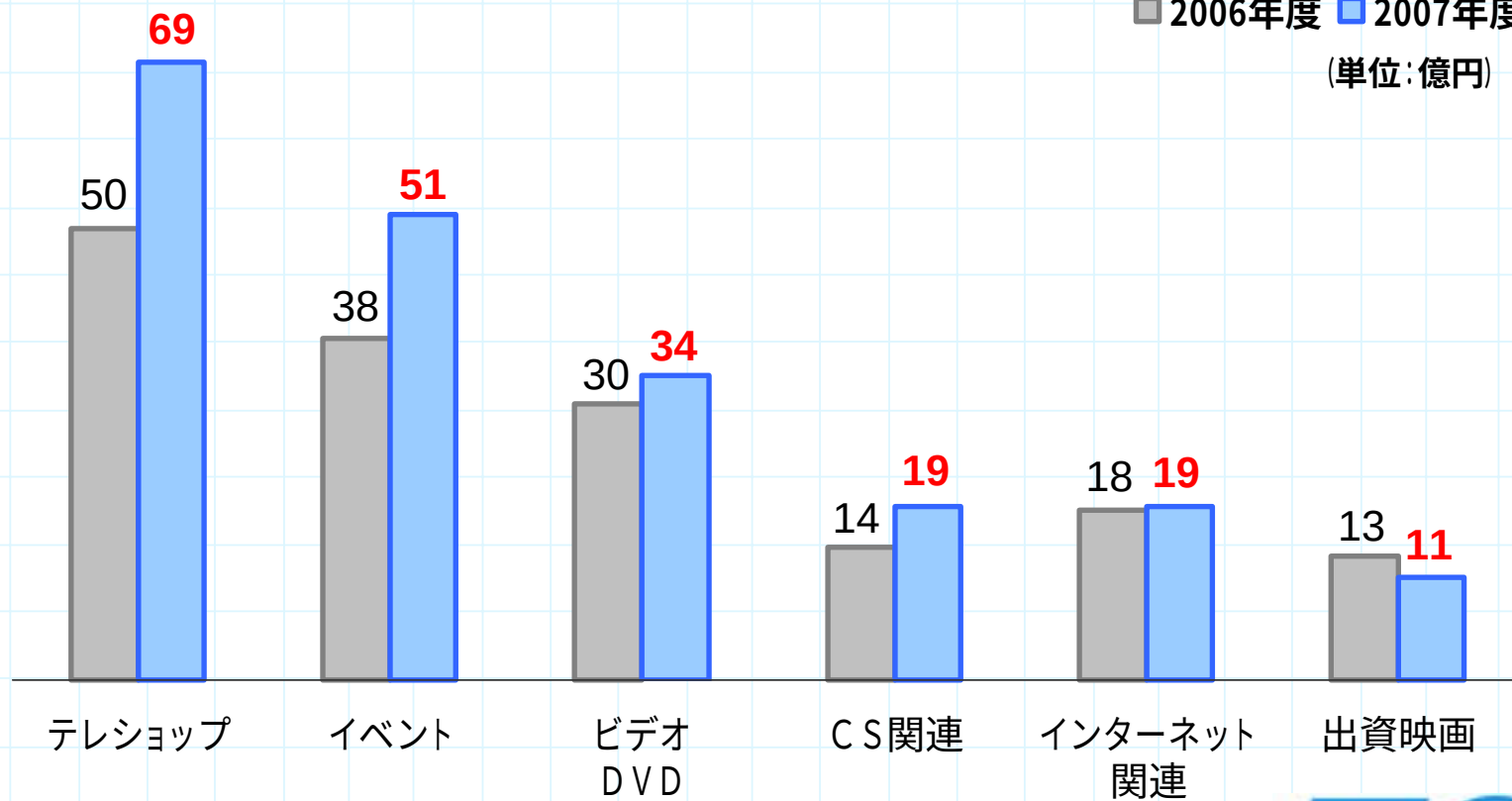
ケツメイシ



湘南乃風

広告外収入 (個別)

■ 2006年度 ■ 2007年度
(単位: 億円)



主な広告外収入の増減要因（個別）

	2008年3月期		
	実績	前期比	主な増減要因
番組販売	122億円	2.0%	好調番組の番販が堅調に推移。
テレショップ	69億円	36.8%	今期から連結子会社との統合スキームにより事業を一体化。
イベント	51億円	36.2%	「大徳川展」「RED HOT CHILI PEPPERS 2007」「SUMMER SONIC」「FUJI ROCK FESTIVAL」等。
ビデオ・DVD	34億円	10.7%	「相棒」「時効警察」「内村プロデュース」が貢献。
CS関連	19億円	29.9%	CATVを中心とした「テレ朝チャンネル」の契約者数の増加。
インターネット関連	19億円	2.2%	テレ朝com・plete!は会員数の減少に歯止め。ネット広告が増収。
出資映画	11億円	△16.0%	前期の「トリック劇場版2」の反動減。「ドラえもん」「クレヨンしんちゃん」は順調な観客動員を記録。

要約連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2007年3月期	2008年3月期	前期比	増減率
(資産の部)				
流動資産	153,199	167,179	13,980	9.1%
固定資産	161,266	146,497	△ 14,769	△ 9.2%
資産合計	314,466	313,677	△ 788	△ 0.3%
(負債の部)				
流動負債	47,102	52,987	5,884	12.5%
固定負債	17,920	14,927	△ 2,992	△ 16.7%
負債合計	65,022	67,914	2,892	4.4%
(純資産の部)				
株主資本	235,341	239,449	4,108	1.7%
評価・換算差額等	11,810	2,672	△ 9,137	△ 77.4%
少数株主持分	2,292	3,640	1,348	58.8%
純資産合計	249,443	245,762	△ 3,681	△ 1.5%
負債純資産合計	314,466	313,677	△ 788	△ 0.3%

要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2007年3月期	2008年3月期	前期比	増減率
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,688	17,526	3,838	28.0%
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 18,748	△ 1,295	17,452	△ 93.1%
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,419	△ 2,326	△ 906	63.9%
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	△ 33	△ 39	—
現金及び現金同等物の増減額 (△減少)	△ 6,472	13,872	20,345	—
現金及び現金同等物の期首残高	53,952	47,479	△ 6,472	△ 12.0%
現金及び現金同等物の期末残高	47,479	61,351	13,872	29.2%

番組制作費について (個別)

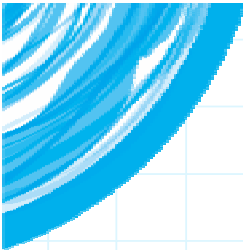
(単位:百万円)

	2007年3月期	2008年3月期	前期比	増減率
番組制作費	87,490	89,258	+1,767	+2.0%

- ◆ 開局50周年記念期間のスタート
ドラマスペシャル「点と線」「鹿鳴館」、「地球危機2008」、「野球北京五輪アジア地区最終予選」等
- ◆ その他の特番
ドラマスペシャル「天国と地獄」「生きる」、サッカー「AFCアジアカップ」、「フィギュアスケートグランプリシリーズ」、「選挙ステーション」等
- ◆ プライムタイムのレギュラー番組にも注力
ドラマ、土曜改編、バラエティー番組の強化、「日曜洋画劇場」40周年特別企画等

設備投資と減価償却費について

	2008年3月期実績		2009年3月期見込み	
	連 結	個 別	連 結	個 別
設 備 投 資 額	52億円	46億円	79億円	75億円
減 価 償 却 費	88億円	84億円	91億円	87億円



資料に記載されている当社の計画、見通しなどのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報から作成されたものであり、何らの保証やコミットメントを与えるものではありません。

実際の業績は様々な重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

本資料に関するお問合せは下記にお願いします。

Tel: 03 (6406) 2177 経営戦略室

Homepage Address <http://company.tv-asahi.co.jp/IR/index.html>

IRホームページの充実にも努めております。ぜひ一度ご覧ください。